

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県

●地域における現状・課題

- ・全国的に少子化が進展する中、本県においては顕著ではないが今後、学校単位で部活動運営が困難な状況になることが予想されます。
- ・学校外の活動に取り組む中学生も見られるなど、活動が多様化してきており、学校部活動だけで中学生のニーズに応えることが困難な状況になりつつあります。
- ・中学校等の学校部活動においては、専門性や意思に関わらず教師が指導せざるを得ない点、休日も含めた学校部活動の指導や大会への引率、運営への参画が求められる点など、教師にとって大きな負担となっている実態もあります。

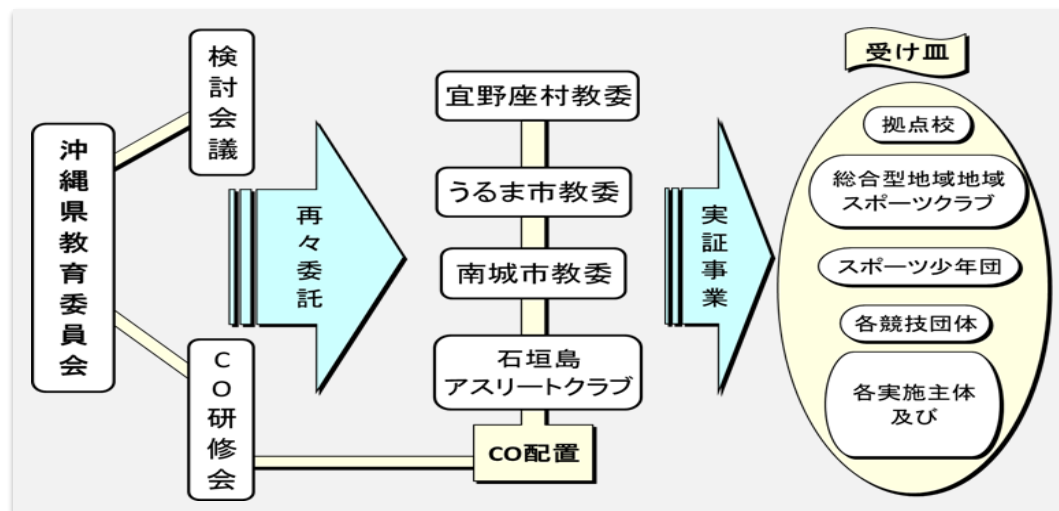
●取組事項の概要

- ・「沖縄県運動部活動の地域移行に関する検討会議」にて、諸課題への方策等について検討、協議。
- ・県総括コーディネーターによる各実証地区への助言及び研修会の開催。
- ・周知説明会及び講演会、シンポジウムの開催。

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・県主催の検討会議では令和5年9月「沖縄県公立中学校の学校部活動地域移行推進計画【初版】」を策定した。
- ・コーディネーター研修会では、県総括コーディネーターより各実証地区コーディネーターや実務担当者へ具体的なアドバイスや助言等を行った。
- ・周知説明会については、各教育事務所での周知説明会を参集型で開催。

●運営体制図



●沖縄県公立中学校の学校部活動 地域移行推進計画【初版】

沖縄県 公立中学校の学校部活動 地域移行推進計画 【初版】



令和5年9月
沖縄県教育委員会

目次	
はじめに	1
1 「学校部活動の地域クラブ活動への移行」の考え方	2
(1) 部活動の現状と課題	2
(2) 文部科学省（スポーツ庁・文化庁）の動き	2
(3) 県の動き	4
① 検討会議の設置	4
② 令和3・4年度地域部活動推進実施事業	4
③ 今後の目指す姿	4
④ その他	5
2 「地域クラブ活動」制度設計	6
(1) 地域の実情に応じた体制整備	6
① 令和5年度文部科学省予算（案）資料	7
② 令和3年度における部活動の地域移行に関する実践研究事例集	7
③ 協議会等	8
④ 運営団体・実施主体	8
⑤ その他	10
(2) 指導者の確保・資質の向上	10
① 活動経費	12
② 会場（活動場所）	12
③ 保険の加入	12
④ 具体的な進め方	12
⑤ 部活動の現状把握と見える化	12
⑥ 地域二つの把握（実施把握）	13
⑦ 協議会等の開催	13
⑧ 運営団体・実施主体に求めていくこと	13
⑨ その他、重要な視点	14
3 関係団体、学校、保護者、地域への説明、周知	14
4 生徒への啓発案内	15
5 指導を希望する教師への対応	16

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県国頭郡宜野座村

●地域における現状・課題

- ・ 学校部活動は比較的盛んに行われているが、外部指導者のほとんどが保護者であり、中学卒業後の進学は他自治体へ生徒が流出している現状
- ・ 地域クラブ活動への移行を契機とした魅力ある学校づくり・村内関係団体等の連携によるまちづくりを行うことで、生徒の他自治体への流出を止め、他自治体から本村の公立中学校や県立宜野座高校への流入効果を図ることが必要
- ・ 生徒・保護者・教員のニーズ等を把握した上で、地域移行に関する適切な方針・計画づくりを行うことが必要

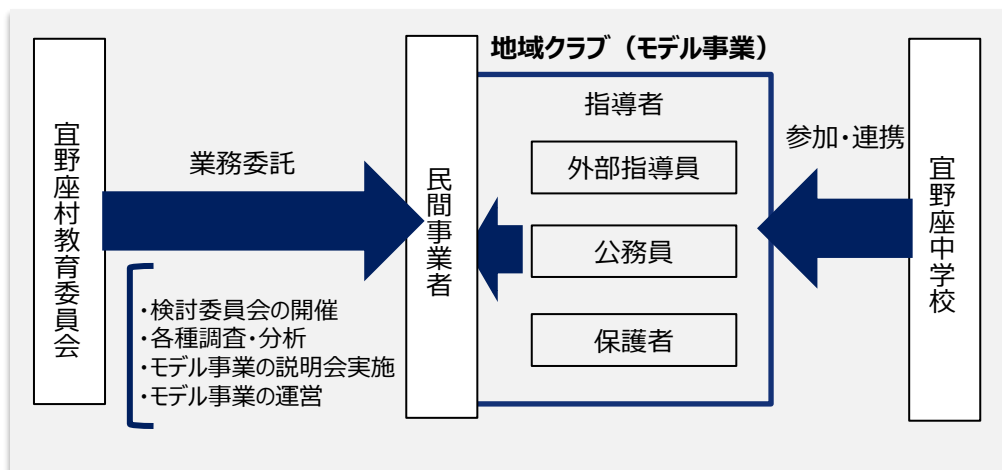
●取組事項の概要

- ・ 検討委員会を設置し、地域クラブ活動の在り方等の検討を実施（委員構成：教育委員会・村長部局・学校代表・保護者代表・体育協会・外部指導者等）
- ・ 村立中学校の学校部活動の3種目において、地域クラブ活動のモデル実証を行い、成果と課題を抽出
- ・ 生徒・保護者・教員・指導者を対象としたアンケート調査（基礎調査）を実施し、村の現状と課題を把握

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・ 既存の外部指導員と連携した地域クラブ活動を実施したことで、次年度以降も同モデルでの拡充が可能になった
- ・ モデル事業において、生徒・保護者・教員から高い満足度を得ることができた
- ・ 教員の兼職兼業に係る運用方法等の課題を把握できた（規則・様式等）

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- （1）運営類型：民間事業者による運営
- （2）運営主体：宜野座村教育委員会（運営委託：民間事業者）
- （3）種目：軟式野球・ソフトテニス・バレーボール
- （4）指導者の主な属性：保護者・地域住民・公務員
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- （6）主な活動場所：学校体育施設
- （7）主な移動手段：徒歩・保護者送迎
- （8）1人あたりの参加会費等（年額）：無
- （9）1人あたりの保険料：生徒 800円／指導者 1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県うるま市

●地域における現状・課題

- うるま市では、これまで教員の働き方改革を目的とし、学校・地域・民間と連携した学校部活動改革の推進を図っており、部活動指導を希望しない学校・部活動を中心に、部活動指導員及び民間等からの専門指導者を配置している
- 「平日＋休日」の地域クラブ活動において継続的な指導が可能な指導者がどの程度いるか、財源確保の手法としてどのような手法が検討できるか

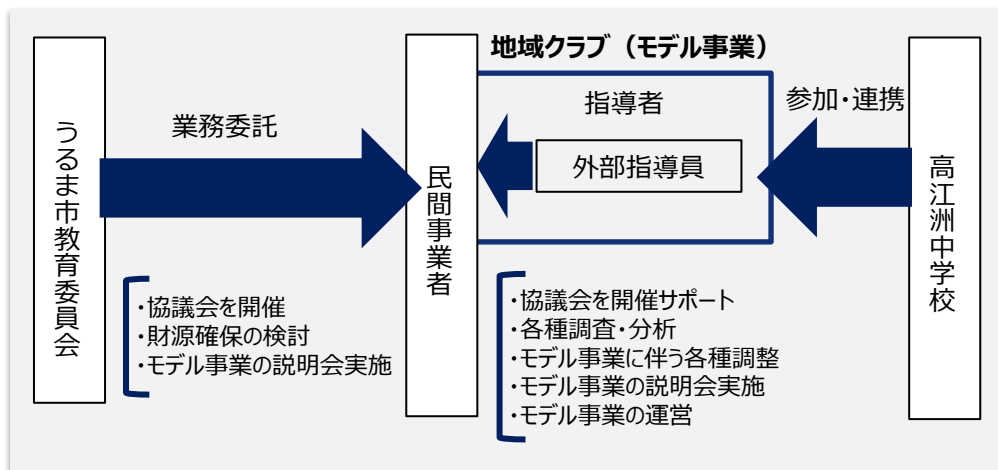
●取組事項の概要

- 協議会（教育委員会・市長部局・学校代表・保護者代表・学識経験者・市内経済団体等）を開催し地域移行の推進に向けた課題と解決案の検討を実施予定（2月開催予定）
- 市内中学校1校1部活動に対し、平日・休日を含めた地域クラブの設置及び実施し、活動における流れの整理および課題の整理・検討を実施
- 新しい財源確保の手法として、チャリティーイベントを実施し財源確保の手法の一つとして検討

●取組の成果、特に工夫した点等

- 市内でこれまで取り組んでいた地域連携の指導者（外部指導者）のうち、学校・部活動・指導者の関係性が良いクラブを選定したことで、平日・休日含めた地域クラブの設置及び推進をスムーズに図ることができた。
- 学校施設にて活動環境が限定されている（テニスコートがない）ことから、社会体育施設を活用した取り組みを実施した
- 8月にチャリティーイベントを開催し、およそ70万円の財源確保を実施。なお、市の歳入・歳出などの仕組み検討が必要であるとわかった

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- （1）運営類型：民間事業者による運営
- （2）運営主体：うるま市教育委員会（運営委託：民間事業者）
- （3）種目：硬式テニス部
- （4）指導者の主な属性：地域住民（対象部活動 外部指導者）
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：20回（平日・休日）
- （6）主な活動場所：学校体育施設・社会体育施設
- （7）主な移動手段：徒歩
- （6）1人あたりの参加会費等（年額）：無
- （7）1人あたりの保険料：生徒 800円／指導者 1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県南城市

●地域における現状・課題

- ・ 現在教員及び部活動指導員、外部指導員を中心に指導を行っており、教員の長時間労働是正や業務負担軽減を図ることを目的に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境（地域移行）の設置を検討している。
- ・ 受け皿団体・指導人材の確保の可能性や家庭への負担（受益者負担額）等、移行に向けた各種課題の検討が必要である。

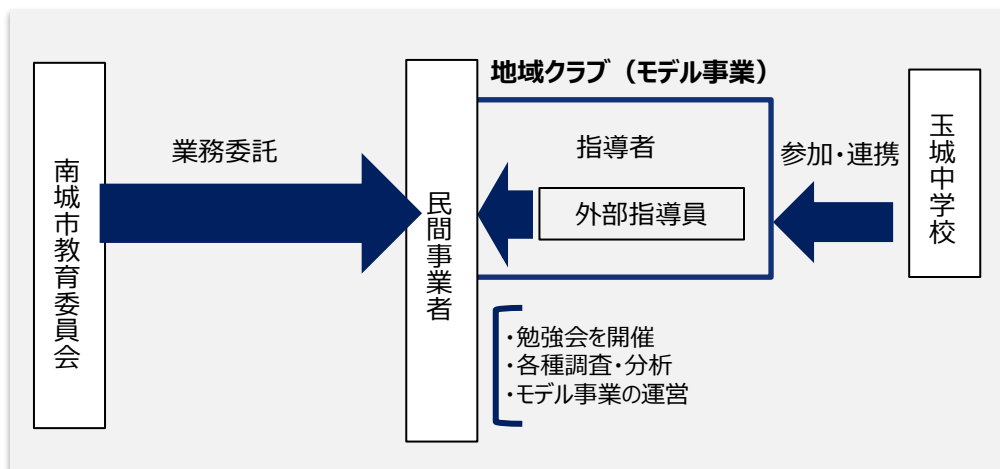
●取組事項の概要

- ・ 市内中学生・保護者・教員・地域スポーツ団体（事業者）への実態及び地域移行に向けた意識調査を実施し地域クラブ化に向けた検討を実施。
- ・ 勉強会を実施（①庁内関係者 ②庁内関係者・外部関係者）し、国の動向及び今年度実施した実態・意識調査に対する報告ならびに次年度に向けた議論を実施。
- ・ 市内1校1部活動に対し、地域クラブの実施と実証に対するアンケート調査の実施

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・ これまで市では中学生等に対する実態調査及び意識調査を実施できていなかったが、今回の調査により生徒・保護者・教員の活動の状況及び移行に向けた意識について把握することができた
- ・ 生徒と保護者・教員との意識の違いならびに地域クラブにおける具体的な課題（人材確保・財源の課題等）を抽出することができた
- ・ 受益者負担について70%以上の保護者より理解すると回答があったものの、体験格差や負担増に対する懸念の声は多くあがっていることから、市としての補助なども含めた検討が必要である

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- （1）運営類型：民間事業者による運営
- （2）運営主体：南城市教育委員会（運営委託：民間事業者）
- （3）種目：バレーボール
- （4）指導者の主な属性：地域住民（対象部活動 外部指導者）
- （5）1か月あたりの平均的な活動回数：2回（全体2回）
- （6）主な活動場所：学校体育施設
- （7）主な移動手段：徒歩
- （6）1人あたりの参加会費等（年額）：無
- （7）1人あたりの保険料：生徒 800円／指導者 1,850円

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県石垣市

●地域における現状・課題

- ・石垣市の人口は50,176人、市内に9校の中学校に1,699名が在籍、内3校は規模の大きな学校(424名,565名,588名)、他は規模の小さな学校(52名～3名)。小規模校では、部活動の種目の選択肢も限られてくる。また、大規模の中学校は市街地中心部に集中し、中心部から離れた位置に小規模校が点在、移動も車で30～50分程の距離にある。
- ・市内77の部活動に対し、顧問数79名、部活動指導員2名、外部指導者39名。
- ・令和元年65.8%だった部活動加入率が令和5年には53.7%に減少している。(文化系部活動を除く)
- ・市内にはクラブチームも多数存在するが、どのチームも部活動地域移行については興味はあるがどのように取り組んだら良いか状況がわかっていない。

●取組事項の概要(総括コーディネーター活動)

6/14	第1回石垣地区検討会議	石垣市教育委員会 石垣市スポーツ交流課	12/4	★ツノスポーツコミッション(宮崎県)視察 地域おこし協力隊の活用について	
6/15	第1回地域コーディネーターミーティング	沖縄県統括コーディネーター	12/9 12/10	九州ブロックネットワークアクション2023(大分県)参加 地域への想いは運動部活動改革をどのように加速させるか？	
7/25	第2回地域コーディネーターミーティング(オンライン)	石垣市教育委員会/石垣市スポーツ交流課/沖縄県教育庁保健体育課/沖縄県統括コーディネーター	12/11	ひのスポーツアカデミー(東京都)視察 企業との協力による部活動地域移行(コニカミノルタ株式会社)	
8/17	第2回石垣地区検討会議	石垣市教育委員会/沖縄県統括コーディネーター	12/19	★部活動地域移行座談会(八重山毎日新聞主催)→2024年新年号に掲載	石垣市教育委員会、部活動地域指導者
9/9	第3回地域コーディネーターミーティング	沖縄県統括コーディネーター/沖縄県教育庁保健体育課	12/21	与那国町部活動地域移行 情報交換	与那国町役場/与那国町教育委員会/与那国中学校/久部良中学校
9/12	第3回石垣地区検討会議	石垣市教育委員会	12/23	★第9回アスリートアカデミー トップアスリートによる陸上教室	東田旺洋選手(セキショウアスリートクラブ)
9/15	部活動地域移行実証事業(陸上競技部門)実施検討会議	八重山郡陸協/八重山郡マスターズ/石垣中学校陸上部顧問/地域指導者	1/7	★第13回アスリートアカデミー トップアスリートによる陸上教室	角山貴之選手(プロアスリート)
10/29	★第1回アスリートアカデミー(陸上競技部門)スタート		1/16- 1-18	部活動地域移行先進地視察(鹿児島ー長崎ー佐賀)	沖縄県教育庁保健体育課、宜野座村教育委員会、沖縄県統括コーディネーター
10/24 10/31 11/7	部活動地域移行実証事業(サッカー部門)実施検討会議	サッカー部門指導者	1/26	八重山郡中体連実践発表会にて部活動地域移行の現状について報告	石垣市教育委員会、八重山地区小・中学校部活動顧問・外部コーチ
11/19	★第1回アスリートアカデミー(サッカー部門)スタート				

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県石垣市

●取組事項の概要(石垣島アスリートアカデミー)

	実施総回数	参加者総数	平均参加者/1回	指導者総数	平均指導者/1回
陸上部門	16回	245名	15.3名	63名	3.9名
サッカー部門	9回	49名	5.4名	13名	1.4名

【参加者所属学校】

石垣中学校・石垣第二中学校・大浜中学校・川平中学校
(真喜良小学校からの希望参加者あり)



●取組の成果、特に工夫した点等

1. 外部指導者との連携。総合型地域スポーツクラブの認知
2. 八重山商工サッカー部との連携。県立学校体育施設開放事業の活用
3. モデルパターンC地域部活動 1移行型 C-1-③クラブ方式へ向けての組織づくりの検討
4. 地域おこし協力隊の活用

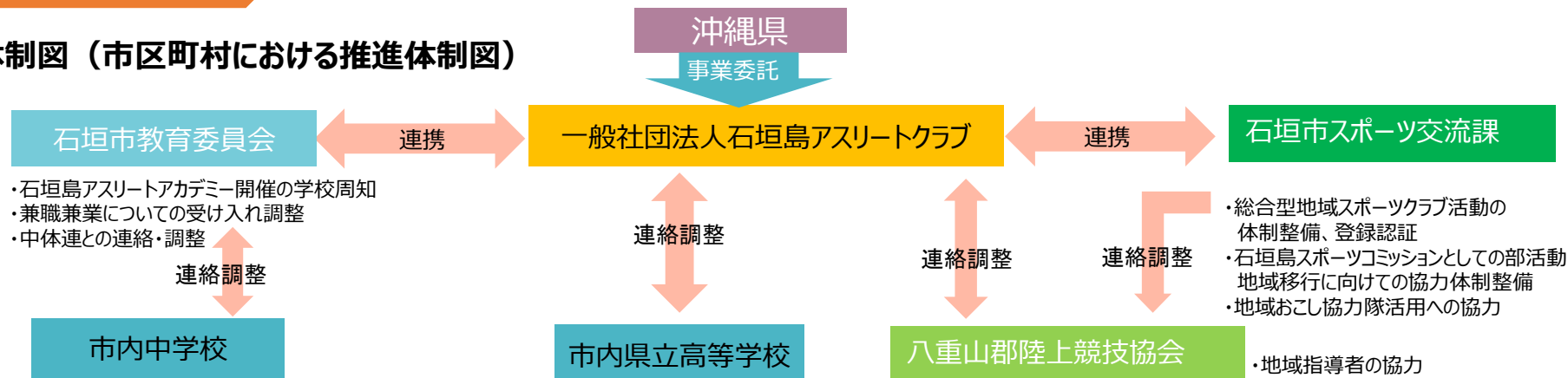
●取組の課題、改善点等

1. 外部指導者の勤務管理。兼職兼業について、出勤退勤の管理、練習シフト調整、謝金の支払い方法等
2. 中高連携時の学校行事、大会日程等の調整
3. 新しい組織づくりにかかる費用と人選
4. 制度の確認と適任者の確保

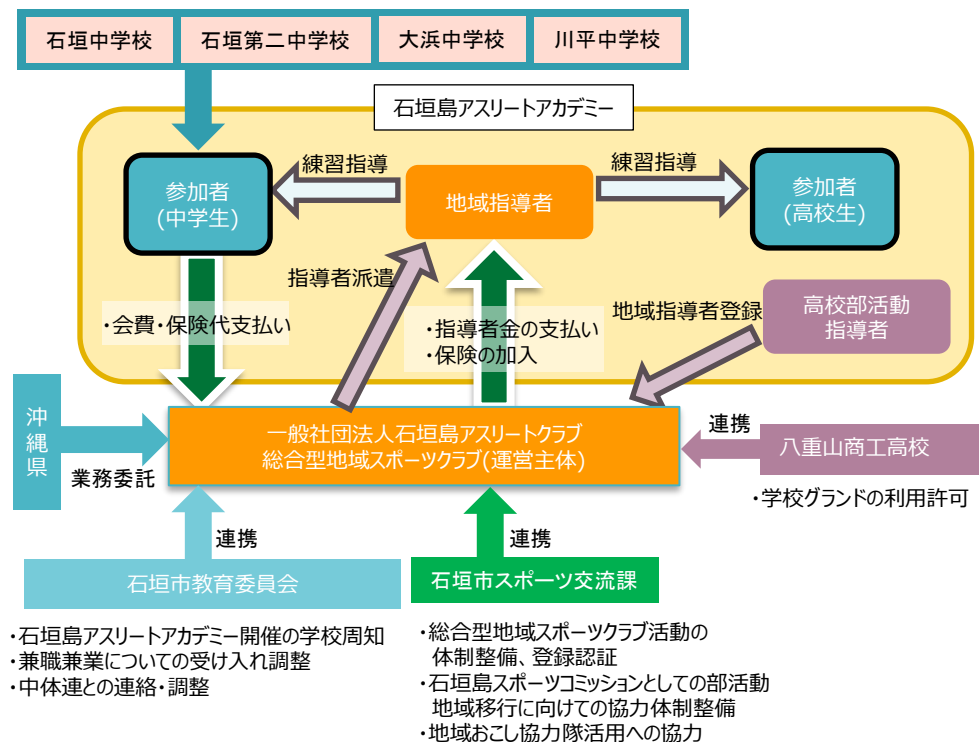
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

沖縄県石垣市

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- 運営類型：C地域部活動-1移行型-C-1-① 公的・民間クラブ方式
- 運営主体：一般社団法人 石垣島アスリートクラブ
- 種目：陸上競技、サッカー
- 指導者の主な属性：地域指導員
- 1か月あたりの平均的な活動回数：10月スタート 陸上競技(4回) サッカー(3回)
- 主な活動場所：陸上競技(石垣市陸上競技場) サッカー(八重山商工高等学校グラウンド)
- 主な移動手段：現地集合
- 1人あたりの参加会費等（年額）：1,000円/年
- 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円